

昭和48年1月13日第3種郵便認可HSK通巻493号

発行/北海道障害者団体定期刊行物協会

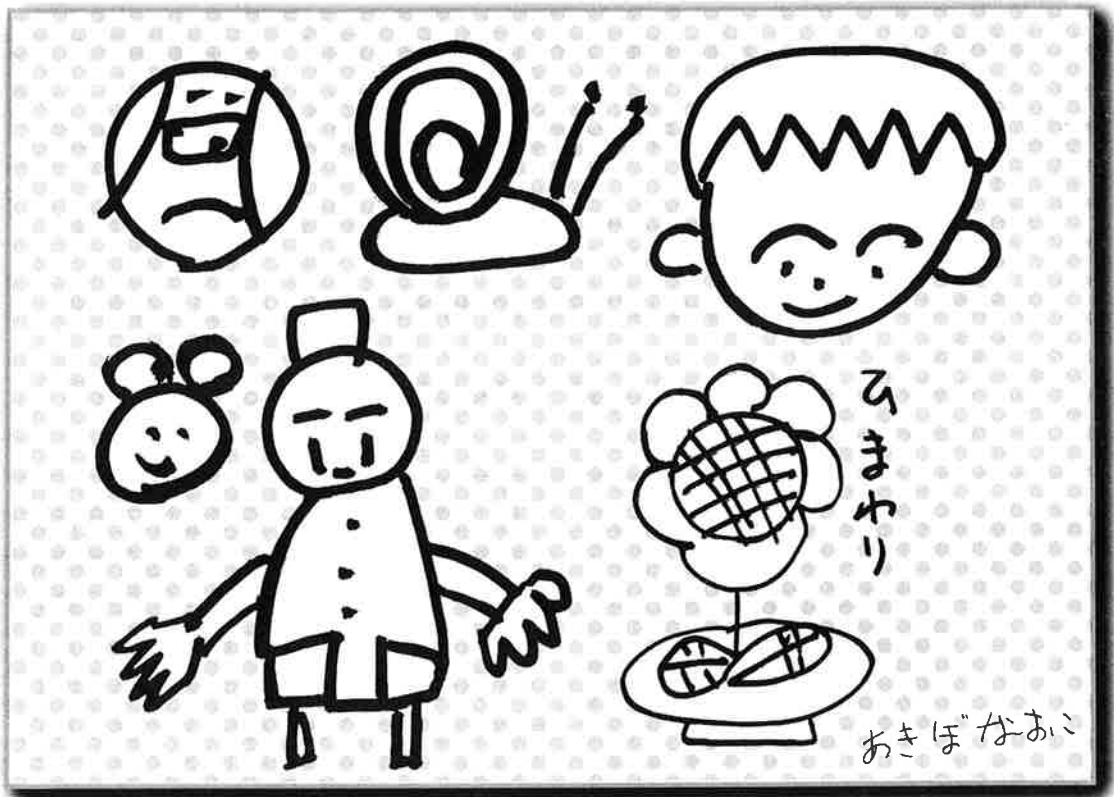
発行日/2013年4月10日(毎月10日発行)1部50円(会費に含む)

編集/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光

会報/199

2013. 4月号

ほまえみ



白老町手をつなぐ育成会

フロンティア新年度の目標

この8年間、社会福祉法人ホープは利用者の生活の向上を一番に考えて、賃金のアップを重点にやってきました。おかげで、仕事の確立という点では8年前の割り箸入れ、端布を使った縫製、小さなオープンでのクッキー作り等内職的な仕事から、事業の入り口へと仕事の中身は発展してきました。

これからいよいよ事業化へ向けて仕事を構築していく時ですが、この間フロンティアに新しい仲間が増え、働く手前で足踏みしている仲間もたくさんいることから、当面は新しい事業を作るより、生活面（広い意味での）を重点とした支援に力を注いでいきたいと思えます。

今年のホープの目標です

- ①利用者一人一人の願いを受け止め、利用者の自立と社会参加を促進する。
- ②利用者の経済的自立を可能とする労働賃金を支払える事業の確立を図る。
- ③利用者が地域で生き生きと生活するために、地域との交流を大事にする。
- ④職員は日々研鑽し、研修には自主的・積極的に参加し、自らの資質を磨く。
- ⑤社会福祉法人ホープに寄せられた多くの善意に応えることのできる職員集団を目指す。



長い間フロンティアで働いてきた佐々木麻樹さんが退所して、生活介護事業所「みらいえ」に通所することになりました。とっても寂しいことですが麻樹さんのこれからを考え、みんなで送り出しました。退所に当たって寸志をいただきました。フロンティアで少し足して55インチの大型テレビを購入しました。

前にいただいたテレビは、今までテレビが無かったほのぼの荘いこの部屋に置かせていただき、仲間たちは大変よろこんでいます。

こいのぼいを募集します

今年も鯉のぼりの季節がやってきました。この時期は風が強いため、ちぎれたり絡まったりして、鯉のぼりの破損がひどく、毎年2~3匹はだめになってしまいます。そこでお願いです。もう空に泳ぐことのなくなった鯉のぼりがありましたらご寄贈ください。今年も白老の山口さんから数匹いただきました。



金魚・鯉も募集します

去年12月に急きょ池を造って、プールから金魚・鯉・チョウザメを放したのですが、冬の間にはチョウザメ、鯉は全滅してしまいました。酸欠説、餌不足説、寒さ説等が出ましたが、原因はわかりません。春になったので、過去は振り返らず残った金魚をすくおうと思って網をもって池まで行きましたが、池が大きく又石の下などに潜られるとうまく金魚を捕まえることができません。そこで、再度金魚を菅野さんの所からいただいていたのですが、菅野さんも少し魚を減らした所でしたのでプールの大きさと比べると寂しく感じます。

そこでお願いです。自宅にいる金魚や鯉で、大きくなって困っていらっしゃる方は、喫茶「茶連慈」の前にあるプールに自由に放しに来てください。

「歩きながら考え、考えながら歩く」

平成10年3月23日の会報「ほほえみ」の記事

3月議会で共同作業所への補助金が決定されました

すでに新聞で読んだ方もいらっしゃるかと思いますが、手をつなぐ親の会共同作業所「フロンティア」へI型作業所としての補助金の決定が三月の議会でなされました。ここまで来るのには、多くの会員と後援会員の頑張りがありました。応援して下さった多くの関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。白老町の親の会が出発してから実に20年以上がたち、大きな目標の一つが達成されました。……………

上の記事は、平成10年3月23日の会報「ほほえみ」の記事の一部です。平成9年4月に共同作業所「フロンティア」を立ち上げてから1年が経ち、白老町からも北海道からも作業所として認可され補助金が出るようになった時の喜びの記事です。

当時のフロンティアは、利用者6名、その年の作品等の売上金の合計が174万円、支払った職員の人件費は94万1900円、補助金を含めた年間予算が約500万円でした。14年後のフロンティアは、利用者が8倍、売上金は20倍、人件費は60倍、予算は20倍となっています。思えば遠くにきたものです。たくさんの方々のご支援が、ハイスピードでフロンティアをここまで押し上げてくれたのだと思います。

登別に新しい作業所を

私たちは事業経営を目的としているわけではありません。どんなに障害が重くても、地域で普通に暮らしたいという本人や家族の願いを実現するために活動しているのです。

現在、登別市からフロンティアに通ってきている利用者は9名います。登別は白老の2、5倍の人達が暮らしているのですが、障害者が通所する就労事業所の間口は、白老の半分しかないのです。ですから、フロンティアの様な障害種別や程度で選別しない事業所が登別市にも欲しいという親の願いを社会福祉法人ホープは支援してきました。しかし、残念なことに親の願いに正面から応える事業所は現れませんでした。ですから今回、登別市手をつなぐ育成会や登別市障害者団体連絡協議会と力を合わせてフロンティア登別（仮称）を立ち上げることにしたのです。来年から室蘭・登別・白老出身の高等養護学校や養護学校の卒業生は年間30名を超えます。早急な整備が求められているのです。

新刊好評発売中

義勇の座

YOSHIO
NO
SORA

7
volume
エアーダイブ

平成9年7月、作業所の開所式に当時北海道立
小児総合保健センターの高橋先生が来て、激励のス
ピーチをしてくださいました。その時から高橋先生は、
フロンティアの協力な後援会員の一人です。



ふろんていあ♡メール
Frontier

就労支援施設
フロンティア♡MAIL

2013年4月号

〒059-0922
白老町萩野310-110
TEL・FAX0144-83-3537

麻樹さんの門出に仲間集う

出会いと別れの4月ですがフロンティアにも淋しい別れがありました。

毎朝一番元気な「おはよ～」の声。朝の会では時候の確認をまかされていて、いつも利用者みんなの中心にいた麻樹さんでした。

フロンティアと共に歩んだ道のりを讃えようと3月25日の送別会では実行委員があたたかいひとときを企画しました。

お菓子班が準備してくれたケーキやプリンを食べながらビンゴゲームやカラオケ、ダンスなど楽しい時間はあっという間でした。お別れのことばでみんなしみりしてしまいましたが、麻樹さんを囲んでの集合写真は笑顔で取まりました。

新天地「みらいえ」でもお元気で!



茶連慈で接客・イベントなどに力を注いで下さった職員の鈴木邦子さん・黒沢敦子さんが退職されました。お疲れさまでした!

新しい仲間も増えました

みなさんこんにちはは玉山由衣です。
好きなことはオシャレをすることと、
KARAのDVDを見たりすることと、
買い物をする事です。

3月からきた小野千鶴子です。
何も判りませんが、皆さんに色々と
教えてもらい、がんばります。

新商品 防災アロマキャンドル

防災アロマキャンドル

ほんのりアロマの香りに心癒されます！

可愛い季節にちなんだ容器で、停電・災害時にも強い味方になります。

香りはジャスミン・ローズ・ヴァイオレット・オーシャン・ラベンダー・フォレストの6種類です。

取り扱い場所：茶連舘・ケサラ・エスパス・えがお・ハーモニー（登別市民会館内）・ブチハウス（苫小牧パセオ内）



..... フロンティア新体制へ

寒く厳しかった冬が終わり、白老にも春がそこまで来ています。24年度より一歩前進して、フロンティアを利用して頂くみなさんへのサービスの質を高められるよう新しい会議や研修体制を組む職員一同研鑽に努めていきたいと思っております。

外販一覧表（平成25年4月から）

今年度も宜しくお願いいたします。

第1・3週	
火曜日	室蘭養護学校、旭岡小、向陽中、高砂小、水元小、知利別小 杉中（石井義・菅井麻）
水曜日	虎杖小、緑小、白小、萩小、竹小、白中、白翔中、エミナ、郵便局、栄高校、 白老東高校、教育委員会、いきいき4・6、商工会 杉中（坂口・添田）（西島・小倉）
金曜日	やまなみ分校、豊川小、育成会、あそしえ、錦岡小、明德小、給食センター、 澄川小、泉野小、凌雲中、啓明中 国本（添田・梅野）

第2・4週	
火曜日	伊達高等養護、寄宿舎、伊達小、伊達東小 14：30出発 18：00戻り 杉中（石井義・品田）（陸辺・菅井麻）（近藤・添田）
水曜日	青葉小、鷺別小、鷺別中、緑陽中、コカ・コーラ、胆振ふれあい、幌別小、 幌別中、幌別西小、富岸小 杉中（石井義・打矢）
金曜日	緑小、和光中、東小、清水小、北星小、糸井小、大成小、日新小、明倫中、 光洋中、保健所 国本（高部・大友）

印刷班から封筒印刷価格のお知らせ

◎片面一色刷り

1枚～1,000枚迄……

印刷代金¥8,000+封筒代金

1,001枚～2,000枚迄……

印刷代金¥9,500+封筒代金

封筒代金

長3封筒(クラフト封筒)…1枚 2.20円×枚数

長3封筒(カラー封筒)…1枚 3.60円×枚数

角2封筒(クラフト封筒)…1枚 5.65円×枚数

角2封筒(カラー封筒)…1枚 11.15円×枚数

皆さまからの御注文をお待ちしております！

※封筒価格はほんの一例です



ほほえみ199号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
2013年4月10日発行(毎月10日発行)
H S K通巻番号493号 1部50円
編集/〒059-0922

北海道白老郡白老町字萩野310-110
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光
Tel 0144-83-3537

発行/〒063-0868

札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
北海道障害者団体定期刊行物協会
細川久美子 (Tel 011-736-1724)